



(住所) 橿原市雲梯町689
(祭神) 鴨八重事代主神
(交通) JR桜井線・金橋駅または
近鉄南大阪線・坊城駅から

徒歩約25分
(拝観) 境内自由
(駐車場) 無

河俣神社 (橿原市)



と書かれています。その神が当社の祭神の鴨八重事代主神だとされています。宇奈提の地名は現在も当社のある雲梯町に呼び継がれています。

奈良時代に編さんされた日本書紀にも当社が登場します。壬申の乱の時、

また当社は「装束の宮」

当社の事代主神が大海人皇子(後の天武天皇)軍のある將軍の口を借りて「神武天皇の陵に馬や種々の兵器を奉れ」と告げました。その通りにして戦に勝った大海人皇子は即位後、事代主神にお礼に神階という位を贈りました。

とも呼ばれます。これは古くから大阪の住吉大社が、お祭りで使う土器を作る材料の土を当社の東にある畝火山口神社で採る神事を行う際に、大社の使いは当社に詣り、服装を整えてから畝火山口神社に向うのでそう呼ばれました。

河俣神社はいにしへの書に記されたことが今に伝わる雲梯の古社です。

(奈良まほろばソムリエの会会員 大江弘幸)

日本書紀にも登場の古社

河俣神社は、延喜式神名帳という平安時代に諸神社を記録した書物に記載されている高市御縣坐鴨事代主神社だとされる古社です。古くから天皇に祝いの言葉などを述べる「出雲国造神賀詞」に出雲の神が天皇守護のために四柱の神を大和国へ送った、その

うちの一柱が宇奈提に送られた事代主神である